

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度施策評価結果一覧表

資料2

基本目標1 あびこを支える産業を応援し、いつでも働けるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
4-2 就労支援の充実	企業立地推進課	地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	18.4 (R1)	22.9	23.4	21.7	達成	良好とはいえない	●体調不良等での離職が複数報告されているが、企業側に問題はないのか把握が必要ではないか。 ●求職者が求めている企業や、紹介先の企業がどのような状態にあるかを把握するため、紹介した人のその後の離職率等を知る必要がある。 ●企業側は若い世代を採用したいと考えているが、定年後に仕事を探す人も多くいることから、定年退職した人向けの仕事をつくる必要がある。多くの企業で人手不足が生じているため、年齢を問わず求職者に相談室へ来ていただけるようPRしていただきたい。同時に、求職者へ紹介できる企業数も増やす必要がある。 ●企業や求職者のニーズに合った働き掛けが重要である。高齢者向けの職業について情報発信した場合、高齢者がその情報を受け取れるような取組をすることや、紹介先に就職した人のその後の状況を把握し、紹介することが市内の産業を応援することにつながるので、今後検討いただきたい。
	企業立地推進課	我孫子市地域職業相談室の月平均利用者数	人	—	276	319	340	未達成		
	障害者支援課	一般就労移行者数	人	—	42	48	45	達成		
	障害者支援課 障害者福祉センター	障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	100 (R1)	94	87	100	未達成		
4-3 商工業の振興	商業観光課	商店街団体等への年間支援件数	件	16 (R2)	20	19	17	達成	概ね良好	●商工会を中心に地域の祭り等を開催しているが、参加者数等を踏まえ、廃止するものは廃止し、新たな取組を進めることができることが賑わいづくりにつながる。積極的に協力したいと考えている市民は多くいるため、イベントに向けた会議等の事前の周知を徹底していただきたい。予算を確保して事業を実施することも大切だが、予算をかけずにできることも多くある。 ●我孫子市中小企業資金融資制度は、利子補給があり、今後金利が上がることを考えると非常に良い制度だが、審査に時間を要したり、借入可能額が低かったりという課題がある。銀行でも信用保証協会に頼らない融資を進めていることから、市の制度を使わない人もいることが想定される。市の小児科診療所等開業促進補助金も、現時点では利用者がいないと聞いている。これらの補助金は、市外から移ってくる人へさらに特典をつけることで、転入者や利用件数、事業所数の増加につながるのではないか。 ●従業員を雇うような事業所が減っている気がする。また、コロナ禍が明けても業況が回復していない企業がある。全国的に、経済成長は厳しい状態にあると感じている。 ●女性起業ラボのチラシについて、実際に本事業を利用して起業した人の写真等を使うと、プロモーション効果がより出ると思うので、検討していただきたい。 ●女性向けの起業支援は、移住プロモーションにも活用できる。子育て後に仕事を始めたいと考える女性など、自分の人生をもう一度自分らしく輝かせたい人へアピールできると良い。次回以降は、本事業利用者にチラシをデザインしていただきなど、活動が目に見えるようにしていただきたい。 ●融資制度による借入金は初期費用へ充てられることが多く、起業・創業後の支援がないとすぐに廃業してしまうため、その後の支援も検討していただきたい。
	企業立地推進課	「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	53 (R2)	75	90	88	達成		
	企業立地推進課	「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	件	14 (R2)	22	23	32	未達成		
	企業立地推進課	市主催の創業塾、起業個別相談会、女性起業支援フォーラム、ビジネス交流会の延べ参加者数	人	—	729	844	803	達成		
	企業立地推進課	起業後5年間の事業継続率	%	—	89.2	93.0	90	達成		
4-1 企業立地の推進	企業立地推進課	企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	—	1	1	2	未達成	良好とはいえない	●共同企業体の撤退により産業用地整備に資する指標の見直しを検討していただきたい。
4-4 農業の振興	農政課	農地利用集積面積	ha	275.5 (R2)	310.7	349.4	332.8	達成	概ね良好	●農産物直売所あびこの年間売上は目標達成しているが、物価高の影響により価格転嫁したことが要因として考えられる。また、米については価格が高騰したこと一部の農家が米卸売事業者へまとめて販売したことにより、直売所への出荷が少なくなった。これに伴い、直売所のレジ通過者数も減っていると感じている。 ●我孫子は少量多品種の農家が多いため、旬な農作物について直売所が情報発信することで、直売所への来場者数や購入者数の増加につながるのではないか。 ●野菜を買う場合、どうしても道の駅しようなんと比較されてしまう。ボリューム感や品揃えは道の駅の方が充実している。差別化を図るために、さまざまな集客イベントに挑戦し、来場者数を増やしていただきたい。来場者が増えれば、直売所へ出荷する農家や事業者も増えるのではないか。 ●あびこエコ農産物認証制度により、我孫子全体の農産物のイメージアップにつながるので良い取組だと思う。 ●50名程度があびこエコ農産物認証制度に取り組む意思があり、結果として認証を取れた人が27名だったということを考慮して評価したい。
	農政課	新規就農者の経営体数	人	20 (R2)	24	24	27	未達成		
	農政課	「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	29 (R2)	30	27	36	未達成		
	農政課	農産物直売所年間売上	千円	225,074 (R1)	276,445	297,269	242,537	達成		
	農政課	水の館農産物直売所の地元農産物の販売個数	個	—	354,398	347,201	355,000	未達成		

※計画策定当初現況値が「—」表記の指標は、令和6年度施策評価(有識者評価)から追加した指標であり、第2期我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略には掲載していないものです。

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度施策評価結果一覧表

基本目標2 あびこの魅力があふれ、にぎわいを生むまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
5-2 住環境の 保全とまちなみの 魅力向上	建築住宅課	市営住宅の入居率	%	91.8 (R2)	90.5	89.8	95.9	未達成	概ね良好	●空き家バンクのチラシは、利用者の声も載っていて分かりやすい。 ●空き家バンクについて、防犯上、空き家が増えないよう積極的にPRし、活用していただきたい。 ●市営住宅の入居率は、市営住宅の改修工事が完了しない限り100%にはならない。また、入居率の低い地区があるため、各住宅について、市として適切に管理・修繕を行っていることを周知すべきだと思う。 ●市営住宅は収入制限等で入居できる人が限られており、入居率を100%に近づけることは難しいとは思うが、空き戸にも維持管理コストがかかることから、目標達成に向けて取り組んでほしい。 ●計画期間の最終年度の目標値として市営住宅の入居率100%を設定しているが、入居率を100%にすることが目的ではなく、住める場所を提供することが重要だと思う。
	建築住宅課	空き家バンク累計登録件数	件	4 (R2)	12	21	21	達成		
5-5 利用したく なる公園の整備	公園緑地課	市民手づくり公園の活動団体 数	団体	10 (R2)	9	9	14	未達成	概ね良好	●公園利用者はどの世代の人が多く、どのように使われているかなど、実態調査を行った上で、市民の声を聞き、各公園に合った整備をすることが重要である。次年度以降、どのような公園づくりが求められているか、「市民の声を聞く場を設けた数」のようなものを指標に設定した方が良いと思う。 ●手賀沼親水広場は、散歩やボール遊びをしている人が多いと感じる。住宅地にある小さな公園と、メインとなる大きな公園の目的の違いを明確にし、整備の計画を立てるべきだと考える。市外の人も来なくなるような魅力的な公園を何か所か整備し、住宅地にある公園は災害時の避難場所にも使えるようにするなど、各公園の目的別の取組を検討していただきたい。 ●全ての公園が適切に維持管理されていれば、基本目標にある「我孫子の魅力」につながるのではないか。
	公園緑地課	公園遊具の定期点検結果への 措置率	%	—	100	100	100	達成		
	公園緑地課	手賀沼遊歩道護岸工事の進捗 率	%	—	0	25	25	達成		
6-2 自然環境 の保全	手賀沼課	手賀沼ふれあい清掃参加人数	人	—	320	290	300	未達成	概ね良好	●基本施策5-5「利用したくなる公園の整備」と本施策の横断的な取組ができると良い。 ●指標の「手賀沼ふれあい清掃参加人数」と「利根川河川清掃参加者数」が目標未達成となっており、今後の展望として「イベントを周知する」と記載されているが、周知した結果が今回の実績値だと思う。予算が確保できればパンフレットの制作等ができるが、予算がない中でPRするためには、事業所等に職員が足を運んで協力依頼をするしかない。イベントをPRする頻度が少なかったのではないか。 ●SDGsという言葉を使うなど、情報の発信内容を工夫することで参加者の意識が変わるのでないか。情報発信の方法や、発信時に参加する意義を示すなど内容を工夫すると良いと思う。 ●ごみを多く拾った人へプレゼントを贈呈するなど、楽しいイベントと一緒に企画すると参加者が増える。また、手賀沼ふれあい清掃も利根川河川清掃も、現地へのアクセスの悪さが参加者の増えない要因の一つだと考える。 ●楽しいイベントを組み合わせることで参加者が増える可能性が十分ある。若い世代の参加者を増やすために、小学生くらいの子どもが楽しめるようなイベントの企画を検討していただきたい。
	生活衛生課	みどりのボランティア登録者 数	人	408 (R2)	522	537	479	達成		
	公園緑地課	利根川河川清掃参加者数	人	111 (H30)	87	78	116	未達成		
	手賀沼課	環境(学習・啓発)事業の実施 回数	回	—	42	32	50	未達成		
戦略的なシティプロモーション	秘書広報課	転入超過数	人	—	1221	1,117	1,000	達成	概ね良好	●フィルムコミッショング事業は、民間が主体とはいえうまく連携できたら良い。 ●アミレス跡地を使った体験ツアーなどのプログラムを作れないか。 ●外国人が増えることを否定するわけではなく、むしろウェルカムな面も当然あると思う。ただ施策の展開内容で「市民の定住と市外の方の移住促進を図ります」とある中で、子どもたちが大人になって家庭を持ったときに我孫子に戻ってきてくれる人をどう誘導していくかということも重要ではないか。中長期的なベースの考え方、子どもたちへのアプローチも必要になってくるのではないかと思う。 ●シティプロモーションする際に、紙媒体に二次元コードを付けてリンクに飛んでもらうというのが一般的な方法になっていくと思うが、民間のチラシでも市の名前が入っていると安心感がある。それゆえに詐欺などもあるため、提携先は慎重に選択する必要があると思うが、そういうスキームが確立していけば市として限られた予算の中で、持ち出しを少なくしつつ、有効なプロモーションができるいくのでは。 ●移住に関して、市としては若い世代が入ってきてほしいという希望があると思うが、必ずしも若い世代だけではなくて、退職後の人生を我孫子で過ごしたいという方にもアプローチができるはず。ターゲットを一つに絞らないで、いろんな選択肢があるまちということも、アピールできるのではないかと思う。 ●転入超過のうち8割が外国人ということを聞くと、このシティプロモーション施策の評価が難しい。 ●施策の目的、内容に照らして戦略的に取り組んでいただきたい。
	秘書広報課	シティプロモーション施策展開 事業数	事業	—	2	4	4	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
4-5 交流・関係人口の拡大	商業観光課	観光イベント来場者数	人	-	188,000	203,000	193,500	達成	概ね良好	●未達成ではあるが、キャンプ場の実績値の伸びはすごく大きいと思う。令和4年、5年から比べると、ドンと上がっていて、これはLINE申請の効果かも知れないが、うまく数字が動いている気がしている。これまで12月から3月は閉鎖してたのを、今年の11月から開けるということだが、実は最近冬場のキャンプは人気があり、特に女性のキャンパーは虫が出ない冬場に行く人が多い。流行っているので、さらに数字が伸びればいいと思う。 ●キャンプ場以外の指標は、数字が達成している、していないはあまり大きな影響がない気がする。例えばホームページのユーザー数でいうと、数字的には毎年同じような数字で、何か変わった大きなイベントがあつたりすれば上がると思うが、そもそも今ホームページの役割自体が落ちてきている時代で、飲食店でホームページを持っていないインスタグラムだけというところもある。全体的にあまり大きな問題があるようには見えない。 ●我孫子らしさというか、施策の目的の「手賀沼をはじめとする地域資源を活用し」というのが、どこに散りばめられているのかがすごくわかりにくいと感じる。既存のお祭りや施設を活用していくというところはいいのかもしれないが。 ●数字だけを見て観光施策がうまくいっている、いっていない、というものではないと思う。報告資料を見ると魅力発信も含めて相当色々取り組んでいる状況があるので、ここの数字だけでなく、しっかりイベントなどをやられていることは評価できると思う。 ●イベントに関してはほぼ達成しており、コロナ禍が明けてから順調に推移してきていると思う。施策として良好という評価でもいいかなという感じを受けた。 ●キャンプをされる方は道具にこだわって自分で持ってくる方も多いのかもしれないが、初めてキャンプしてみたい、というような方にとっては、ある程度キャンプ道具一式が用意してあって、レンタルできるような形もありかなと思う。 ●今後、KPIが適切なのかというところも含めて、新しい取組を検討する余地はあるのではないか。
	商業観光課	観光施設利用者数	人	-	69,743	74,855	72,613	達成		
	文化・スポーツ課	観光ホームページのユーザー数	UU	-	208,866	208,802	237,059	未達成		
	文化・スポーツ課	宿泊者数	人	-	37,837	37,835	37,838	未達成		
	商業観光課	市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなきちカップ参加者数	人	201 (R2)	261	306	226	達成		
	商業観光課	ふれあいキャンプ場利用者数	人	8,730 (H30)	5,293	6,816	9,365	未達成		
	商業観光課	常磐線沿線活性化イベントの実施数	回	-	2	1	2	未達成		
7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興	文化・スポーツ課	文化・芸術イベントの来場者数(参加者を含む)	人	-	41,847	47,766	47,000	達成	良好	●指標「文化・芸術体験会への参加人数」では、会場を変更するとか、そういった取り組みも検討されたのは良かったと感じる。「めるへん文庫の応募者数」についても、市内の学校を順次回ってチラシを配るといった取り組みも評価できる。 ●大きな市民会館がない中でこれだけのイベントを分散して実施する苦労は評価してもいいと思う。狭いがゆえにいろんな工夫をされて、お金をかけずに良い形でやっている。市内に向けて発信するのか、市外に向けて発信するかというのは難しいところではあるが、市内向けというのは、個人的に評価している。全国的に発信するような、自立イベントはないかもしれないが、今の取組をもっとPRしてもいいのではないか。爆発的なヒットにはならなくても、地道に積み上げていけば評価につながると思う。 ●施設の閉館などがあったときには、それによる影響が分かるように実数を示してもらいたい。 ●今年の市制施行55周年事業の結果にも期待したい。
	文化・スポーツ課	めるへん文庫の応募者数	人	125 (R2)	99	127	163	未達成		
	文化・スポーツ課	文化・芸術体験会への参加人数	人	-	350	432	400	達成		
	文化・スポーツ課	文化財施設等の年間見学者数	人	16,489 (H30)	14,748	10,984	17,495	未達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度施策評価結果一覧表

基本目標3 あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	保育課子育て支援センター	子育て支援センター親子組数	組	－	16,597	18,467	18,000	達成	概ね良好	<p>●指標「妊娠健康診査受診率」の未達成の要因とされる「妊娠の中止」が流産など一定数避けられない事情であるならば、最終的に令和9年度に目標値100%を達成することは困難ではないか。やむを得ないケースを除いた、本来健診を受けなければならないのに受けられていない方が実際にどれくらいいるのかを把握して、対策を検討してほしい。</p>
	保育課	保育園等の待機児童数	人	0	0	0	0	達成		
	健康づくり支援課	妊娠健康診査受診率	%	94.9 (R2)	95.5	94.2	97.5	未達成		
	健康づくり支援課	麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	96.1 (R2)	92.6	91.0	98.1	未達成		
	子ども相談課	子どもに関する相談の終結割合	%	－	81	77	73	達成		
	子ども支援課	学童保育室入室許可割合(1～4年生)	%	－	100	100	100	達成		
	子ども支援課	学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営の満足度	%	－	95	90.69	100	未達成		
3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	子ども相談課	児童通所支援事業利用者に対する相談支援専門員による計画作成率	%	－	100	100	100	達成	良好	<p>●教育相談センターの指標について、令和4年度、5年度から顕著に実績値が上昇し達成となっているが、上昇した要因や利用者の満足度向上につながる取組や背景があるのであれば、共有していただけると他の施策にも役立てられるのではと思う。</p> <p>●ひまわり園の保護者アンケートでは、様々な取組に対して保護者の方から満足しているとの回答が多数得られている一方で、少数ではあるものの課題を指摘されている項目もあるので、そういう取組に対して担当課で対応を検討してほしい。</p> <p>●指標「受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合」について、当初は市の発達センターに通っていた子が民間の児童発達支援施設に通うようになるケースも増えており、そのような変遷について保育園や幼稚園と行政、そして民間の施設がどこまで連携できているかによって把握数は変わると思われるため、目標値を令和9年度に100%としているが、その達成は難しい面もあるのではないか。</p> <p>●相談支援の流れにおいて、アセスメント・サービス等利用計画案作成を行わないとその先のサービス利用申請に進めないというのは課題がないのか気になった。発達相談について、乳児の頃から行動などを見て親の判断で相談に至り、かつ子どもの発達について親自身が理解して受け止めるというのはすごく難しい作業である中、相談から発達センターなどの療育につなげることができた割合が担当課のコメント内容の数値までなっていることはすばらしいことだと思う。今後の課題は、理解を得るのが難しい方に対してどのように支援していくのかを考えていく必要がある。</p> <p>●未達成の指標もあるが、発達センターは園との連携による巡回相談など、園児を見ていたいから保護者にどのように説明するかも含めてきめ細かく話し合って伝え方も決めながら取り組んでいる。療育につながらない家庭もある中で実績値としては未達成ではあるが、かなり高い数値と捉えられ、施策全体もそれを加味して良好の評価で良いのではないか。</p>
	子ども相談課こども発達センター	受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	96 (R2)	98	97	98	未達成		
	子ども相談課こども発達センター	児童発達支援事業利用児保護者の満足度	%	－	100	100	100	達成		
	教育相談センター	教育・発達相談継続ケースの利用者の満足度	%	－	94.4	100	100	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
3-3 魅力ある 学校づくり	教育相談センタ	校内教育支援センター設置校数	校	-	9	14	14	達成	良好	<ul style="list-style-type: none"> ●市内すべての小中学校に校内教育支援センターを設置し、今後は学校間での横の連携、教育相談センターや教育支援センターとの連携といった、新たなフェーズとして不登校児童生徒対策を全市的にどのように進めていくかという段階にあるとのことだが、不登校児童生徒が本取組により元々の教室や校内教育支援センターまで通えるようになったのか等、全市的な数値の推移などで施策成果の把握方法として模索してほしい。 ●設問形式の設定や聞き方について、今回指標として設定してこの有識者会議で説明いただいているということは、後々公表して市民の皆さんにも見ていただくものとなるため、理想としては標準的なフォーマットにおいてどの学校も同じ方法で実施していただくことが望ましい。少なくとも指標にしているものについては設問形式などを統一化するべきである。担当課から各学校に働きかけていただきたい。 ●施策全体としては良好の評価で問題ないが、各論で見ていくと、例えば学校アンケートで数字が低いところがあるという懸念などもあるので、会議で出た意見については担当課へ共有いただき、今後の取組を検討いただきたい。
	学校教育課	学校評価アンケートで、「楽しく学校生活を送っている」と回答した児童生徒の割合	%	-	89	90	100	未達成		
	学校教育課	学校給食を楽しみに感じている児童の割合	%	-	88.2	91.8	90	達成		
	指導課	幼保小連携・接続の実践、交流を行った幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の割合	%	-	-	100	100	達成		
3-4 心豊かにする体験・活動の推進	子ども支援課	あびっ子クラブ登録率	%	53.5 (R2)	54.4	53.96	56.8	未達成	概ね良好	<ul style="list-style-type: none"> ●あびっ子クラブの登録率を上げていく指標設定となっているが、今習い事などは多岐にわたっていてあびっ子クラブの利用自体も変化しているのではと思われる。チャレンジタイムの有無やその内容によるあびっ子クラブの参加人数への影響を確認してほしい。 ●あびっ子クラブの登録率を指標としているが、児童数が減少している中で、そういった点も加味して評価すべきではないか。 ●学校への調べ学習支援件数について、この支援を活用している学校と全く活用していない学校があるように見える。市として、教育委員会として調べ学習への重点をどの程度置いているのか疑問に感じる。子どもたちの心を豊かにするために必要な取組なのであれば、学級担任の切り替わりなどにより失われることのないよう、教育委員会として学校として大切にしていただきたい。 ●学校図書館にも多くの蔵書があるように感じられており、蔵書が豊富にあれば支援件数も学校によって下がってしまうとも考えられ、単純に調べ学習支援を利用していないから教育委員会が目指す学習方法を実施できていないとは言えないのではないかと考える。
	子ども支援課	チャレンジタイムの平均実施回数	回	133.5 (R1)	190	157.9	161.8	未達成		
	子ども支援課	あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	8.15 (R1)	4.86	9.24	8.70	達成		
	子ども支援課	げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	5.05 (R1)	8.64	5.22	5.39	未達成		
	図書館	学校への調べ学習支援件数	件	73 (R1)	48	43	77	未達成		
	図書館	学校巡回移動図書館での貸出冊数	冊	-	21,297	21,482	21,000	達成		

■我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度施策評価結果一覧表

基本目標4 あびこにずっと安心して住み続けられるまちづくり

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
2-2 健康づくりの推進	健康づくり支援課	特定健康診査の受診率	%	31.7 (R2)	35.3 (R4)	35.3 (R5)	35.5	未達成	概ね良好	●がん検診に関して、目標値を見ると倍に増やす目標となっているが、担当課のコメントでは市の検診以外で受診する人も増えているということなので、目標値を設定する上で実態に合わせた現実的な数値とする必要があるのではないか。
	健康づくり支援課	特定保健指導の実施率	%	40.1 (R2)	23.6 (R4)	30.1 (R5)	25.0	達成		
	健康づくり支援課	がん検診受診率	%	6.2 (R2)	6.2	6.2	10.7	未達成		
	健康づくり支援課	救急搬送者の市内医療機関収容率	%	98.5 (R2)	97.0	96.8	90以上を維持	達成		
2-3 高齢者福祉の推進	高齢者支援課	要支援・要介護認定率	%	16.3 (R2)	17.9	18.5	18.2以下	未達成	概ね良好	●指標「要支援・要介護認定率」について、目標値は令和2年度時点の千葉県の数値のことだが、令和6年度時点でも県の実数を下回っていること、また指標「きらめきデイサービス利用者数」についても、目標値には達していないもののコロナ禍以降回復基調にあることを考慮すれば、概ね良好といえる。
	高齢者支援課	きらめきデイサービス利用者数	人	1,340 (R1)	950	1,075	1,420	未達成		
	高齢者支援課	認知症サポーター養成者数	人	12,526 (R2)	16,185	17,514	16,163	達成		
	高齢者支援課	高齢者なんでも相談室への相談件数	件	27,937 (R2)	33,318	36,798	31,469	達成		
7-3 スポーツの振興	文化・スポーツ課	市民体育館の延べ利用者数	人	163,00 5 (R1)	156,863	159,274	177,003	未達成	概ね良好	●スポーツ施設の利用者数の資料に、五本松運動広場の利用者数が含まれていないが、今後変化を見していくために数字を加えたほうがよい。 ●市民体育館の利用者数の減少の要因として、アリーナに空調がなく暑さの影響を受けているとのことで、気象の影響というのは避けられないが、設定した目標値との関係で見ると未達成であるので、施策として良好とまでは言えないのではないか。 ●子どもがアリーナでスポーツをする際非常に暑く、熱中症の懸念がある。空調の整備を進める必要があるのでは。 ●大学や高校でもスポーツを振興する上で安全・安心に取り組めるということが課題になっている。
	文化・スポーツ課	体育施設の延べ利用者数	人	74,980 (H30)	86,407	82,422	87,490	未達成		
	文化・スポーツ課	市主催のスポーツ大会・イベントへの参加者数	人	—	13,320	14,147	17,058	未達成		
1-1 防災・減災対策の推進	市民安全課	自治会による自主防災組織の組織率	%	70.5 (R2)	74.1	74.1	72.2	達成	概ね良好	●指標「自治会による自主防災組織の組織率」について、地域ごとの世帯数、地域対策支部ごとの組織率を見ると、組織率に地域差があることが見受けられる。地域差がある程度生じるのは仕方ないとして、例えば市内の災害危険度の高い低いに応じて、優先して組織していくところを進めるとか、あるいは既に高いところを維持していくとか、そういう視点で自主防災組織の組織率の向上またはその実績値の維持を進めていただきたい。 ●指標「総合防災訓練の参加人数」について、500人という目標に対して551人が参加という説明をいただいたところで、目標自体は定量的に評価しやすいのでこのような目標設定をされてると思うが、実際には、13万人の人口を抱えていることを踏まえると500人という目標設定は施策目的の達成のため十分なものなのか。市民全体への防災の意識づけということが最も重要なところだと思う。当然担当課として意識はされていて、広報やSNS等を通じて周知されているところだとは思うが、そういう意識を今後も持って取り組んでいただきたい。
	市民安全課	自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	18 (R2)	21	21	22	未達成		
	市民安全課	総合防災訓練の参加人数	人	—	なし	551	500	達成		
	警防課	消防団訓練参加率	%	60 (R1)	90	79.58	60以上	達成		
	警防課	消防団員定員充足率	%	—	85	82	100	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
1-2 浸水対策の推進	治水課	浸水対策達成率	%	67.0 (R2)	68.0	68.9	70.5	未達成	良好	●未達成の指標もあるが、目標値との乖離もそれほど大きくないため、施策として良好といえるのでは。
	治水課	柴崎排水区の幹線整備延長	m	—	0	0	0	達成		
	治水課	布佐排水区の幹線整備延長	m	—	130.25	173.38	176	未達成		
1-3 防犯対策の推進	市民安全課	刑法犯認知件数	件	590 (R2)	607	551	590以下	達成	良好	●市内一斉パトロールの年間報告件数を見ると、我孫子南地区が75件の報告があるのに対して、他の地区が0件や2件というのが気になる。我孫子南以外の地区で危険や不安な点がないというのではなく、きつい言い方をすると防犯パトロールそのものが形式的なものになつてはいないかという懸念がある。防犯パトロールの質の向上が課題では。参加人数の目標を上回らせるということも大事ではあるが、我孫子南地区のようにしっかりと見て報告するという実のある防犯パトロールを進めるような啓発活動も必要と感じる。
	市民安全課	市内一斉パトロール延べ参加者数	人	1,482 (R2)	1,757	1,730	1,526	達成		
	市民安全課	空家等の改善率	%	—	46.6	56	50.0	達成		
	商業観光課	消費生活相談斡旋解決割合	%	—	92.9	95.6	95.6	達成		
1-4 消防力の強化	警防課	救急出場覚知から現場まで10分以内に到着できた割合	%	—	70.6	71.0	80	未達成	概ね良好	●指標「救命講習の年間受講者数」について、目標値と実績値に乖離があるので目標設定のあり方を精査していただきながら、自助的な面で、実際の現場で救急救命ができる人間がその場にいるということが限られた命を救うことには繋がるので、普及・拡大を期待しつつ、原因分析をきちんとしていただきたい。 ●救命講習について、様々な場所での声掛けが聞かれていて、活動として評価できるのではないか。2、3年に一度の受講を推奨されていることなので、急激に数字が伸びる可能性は低いが、概ね良好と評価できる。 ●指標のうち、救急出場及び救助出動覚知から現場まで10分以内に到着できた割合に関して、目標は未達成ではあるものの、すでに次年度に向けた取り組みが動き始めている部分があるので今後に期待できる。
	警防課	救助出動覚知から現場まで10分以内に到着できた割合	%	—	45.4	46.1	60	未達成		
	予防課	住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	0 (R2)	1	0	0	達成		
	警防課	救命講習年間受講者数	人	5,578 (R1)	4,684	4,691	6,718	未達成		
	予防課	消防用設備等の点検報告率	%	53.0 (R2)	60.0	62.0	61.5	達成		
1-5 交通安全の推進	交通政策課	交通事故による死者数	人	4 (R2)	0	4	2以下	未達成	概ね良好	●交通事故の件数は激減と言えるぐらい減っているが、事故で亡くなられる方が少なからずいるというところをどう評価するのかというのはすごく難しい。 ●総合的に考えると事故件数が減少傾向にあることから、施策として概ね良好と言えるのでは。
	交通政策課	交通事故の発生件数	件	242 (R2)	209	140	240	達成		
	交通政策課	交通安全教室、街頭での交通安全啓発活動実施回数	回	—	12	19	26	未達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
5-3 公共交通の利便性向上	企画政策課	JR成田線の1日の往復本数	本	40 (R2)	40	40	42	未達成	概ね良好	<p>●成田線の往復本数や路線バスの状況について、全国各地で厳しい状況が続いている中で、目標には達していないものの、なんとか踏みとどまっているというところは評価したい。あびバスの延べ利用者数も増加傾向であるということと、先々の啓発に期待したいということも踏まえて、概ね良好と評価できる。</p> <p>●人口減少、高齢化社会においては移動手段の問題が大事になってくるが、何とかコロナ禍以前の状況まで戻ってきたという中にある。そうした状況を踏まえると、更なる足の確保に向けて頑張っていただきたいという思いも込めつつ、概ね良好と判断したい。</p>
	企画政策課	成田線沿線活性化イベントの実施数	回	—	5	4	5	未達成		
	交通政策課	あびバスの延べ利用者数	人	205,443 (R1)	194,273	209,137	212,721	未達成		
	交通政策課	市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	16,609 (R2)	15,402	15,448	17,305	未達成		
	交通政策課	民間路線バスの路線数	路線	—	12	11	11	達成		
5-4 安全で快適な道路の整備	道路課	都市計画道路の整備率	%	59.2 (R2)	59.4	59.5	59.9	未達成	良好	
	道路課	舗装修繕延長	m	—	1,933	1,280	1,280	達成		
	道路課	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	—	2	1	1	達成		
6-3 生活環境の保全	生活衛生課	公害苦情解決率	%	—	100	100	100	達成	良好	
	生活衛生課	大気中の窒素酸化物環境調査の二酸化窒素の千葉県目標値達成率	%	—	100	100	100	達成		
効率的・効果的な行財政運営の推進	人事課	一人当たりの時間外勤務数	時間	115.1 (R1)	103.2	101.1	106.5	達成	概ね良好	<p>●人事的なことから財政、デジタル分野など様々な面で行財政改革を進められている中で、数値で見ると良いもの、悪いものがある。達成している指標が多いとはいって、一番金額として大きな影響がある指標が未達成ということを踏まえると、良好とまでは評価し難いため、概ね良好が妥当ではないか。</p>
	財政課	経常収支比率	%	93.3 (R2)	92.9 (R4)	95.3 (R5)	全国の類似団体の平均以下	未達成		
	財政課	財政調整基金の年度末残高	円	234,700 (R2)	421,700 (R4)	394,500 (R5)	標準財政規模の10%	達成		
	収税課	市税(現年課税分)の収納率	%	98.71 (R2)	98.92	99.00	98.86	達成		
	企画政策課デジタル戦略室	スマート申請の延べ手続数	件	—	106	173	150	達成		

基本施策	担当課	指標名	単位	計画策定 当初現況値	R5実績値	R6実績値	R6目標値	達成状況	有識者 評価	有識者コメント
7-1 生涯学習 の推進	図書館	図書館の年間貸出冊数	冊	982,928 (R1)	883,337	84,7107	991,464	未達成	概ね良好	<p>●実績値がそこまで回復していないというのはわかるが、全国的に公民館利用が低迷しつつある中で6,000人台の利用という実績があるのに、目標値との乖離が目立ってしまうのがもったいないので、目標値の設定については今後検討の余地があると思う。</p> <p>●指標が多く一概に評価し難いところではあるが、一つひとつ見ていくと、社会的な情勢、例えば若者の本離れ、スマートの利用増加、あるいは高齢化などの様々な要因がある中で、担当課はかなり詳細に達成状況の要因を分析されていて、数字自体は目標に達していないものも、悪い数字ということではないと感じている。</p> <p>●今年から設定した指標「公民館学級・講座の満足度」はすごく重要な数字であり、追加していただきたい。利用者数もさることながら、やはり来ていただいた方に、これだけ満足してもらっているという点が非常に評価できる部分だと思うので、概ね良好が妥当と考える。</p>
	図書館	図書館利用の登録率	%	35.3 (R2)	29.4	38.0	36.3	達成		
	図書館	あびこ電子図書館のアクセス数	件	—	なし	32,903	4,000	達成		
	生涯学習課	我孫子地区公民館の年間利用率	%	60.5 (R1)	57.4	55.1	62.0	未達成		
	生涯学習課	湖北地区公民館の年間利用率	%	45.0 (R1)	43.3	41.3	46.5	未達成		
	生涯学習課	公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	人	9,626 (R1)	6638	6,655	9,763	未達成		
	生涯学習課	公民館学級・講座の満足度	%	—	98	97	95	達成		
	鳥の博物館	鳥の博物館年間来館者数	人	32,624 (R1)	24,971	25,881	33,812	未達成		
市民とともに つくる協働によるまち づくりの推進	市民協働推進課	市民活動ステーションの利用件数	件	—	1,440	1,220	1,300	未達成	概ね良好	<p>●指標「まちづくり協議会主催事業実施率」について、全体のボリューム感がわかりにくいと感じる。ないとは思うが、仮に実施予定数を少なく設定しておけば高い実施率になってしまふ。単純に実施した件数で評価してもよいと思う。</p>
	市民協働推進課	市民活動ステーションの登録団体数	団体	—	407	420	410	達成		
	市民協働推進課	自治会・町内会への加入率	%	69.9 (R2)	67.7	66.7	72.0	未達成		
	市民協働推進課	近隣センターの稼働率	%	46.5 (R1)	42.7	42.7	46.5以上	未達成		
	市民協働推進課	まちづくり協議会主催事業実施率	%	—	95	93	100	未達成		
	市民協働推進課	担い手対策事業を通して活動を始めた人の人数	人	—	127	230	55	達成		
	秘書広報課	市公式LINE友だち数	人	—	18,228	36,095	19,800	達成		